

東南アジアの自然と農業研究会

第 101 回研究例会のご案内

第 101 回定例研究会を開催いたします。今回は、京都大学東南アジア研究センターの海田 能宏氏に下記のように報告していただきます。皆様の多数のご参加と活発な討論を期待してお待ちしております。

記

日 時： 2001 年 6 月 22 日（金）午後 4 時～午後 6 時
会 場： 東南アジア研究センター 東棟 2 階第 1 教室
京都市左京区吉田下阿達町 46
川端通り荒神橋東詰め
話題提供者： 海田 能宏 氏
話 題： 「農業・農村発展のアジア的パラダイム」

要 旨： 農業技術の発展に対してある種の閉塞感が広がる一方で、アジア(・アフリカ)の人口・食糧・環境のバランスを保つ上でも、あらたなブレークスルーが期待されてもいる。ここ 3, 4 年にわたって「人口・食糧・環境」研究会から学んだことを組み立てて、私流の「農業・農村発展のアジア的パラダイム」を提案してみたい。それは、一言でいうと、アジア(・アフリカ)の「村住み」を生かし、デサコタ的な村と町の混在の中で、エコテクノロジーに立脚し、生業としての農的生き方を伸ばす、ということになる。しかし、それが発展論として、また技術のあり方として蓋然性があるのかどうか、農学各分野の専門家から批判を受けて、さらに考えてみたい、というのが今回の発表の趣旨である。

問い合わせ先： 富田晋介 京都大学農学研究科熱帯農業生態学研究室
Tel. 075-753-6352 mailto: tomita@kais.kyoto-u.ac.jp
柳澤雅之 京都大学東南アジア研究センター
Tel. 075-753-7345 mailto: masa@cseas.kyoto-u.ac.jp

ホームページ： 東南アジアの自然と農業研究会のホームページができました。これまでのこの研究会の歩みや前回の第 100 回記念シンポジウムのレジュメ・スライド等がご覧いただけます。また、これからの研究会で配られるレジュメ・スライド等も随時ホームページ上で公開していく予定ですので、ご参考にしていただけると幸いです。 URL: <http://rtomita.kais.kyoto-u.ac.jp/~sizen/>